

## 携帯発作時心電図検査とは

日常生活の中で自覚する胸の症状（動悸・胸痛など）が不整脈や狭心症によるものかどうかを調べる検査です。

症状が起こった際に、その場で簡単な心電図を記録することができます。

## 検査方法

患者様に一定期間（最長 1 か月）、携帯心電計をお貸しいたします。日常生活の中で胸の症状が現れた際に、ご自身で心電図の記録を行っていただきます。1 回に 30 秒間の心電図を記録することができます。

機器と一緒に行動記録カードをお渡しいたしますので、心電図を記録した際の自覚症状と、そのときの行動を記録してください。



## 携帯発作時心電図検査でわかること

症状が現れた際にご自身で心電図を記録することができるため、持続時間の短い脈の乱れや、狭心症発作など、短時間記録の検査では捕らえることが難しい心電図変化を検出することに有用な検査です。

- ① 自覚症状と心電図変化の関係
  - ② 不整脈の種類と重症度
  - ③ 狭心症の有無とその重症度
- これらを評価するために用いられます。



**携帯発作時心電図検査のあれこれ**  
**Q&A よくある質問にお答えします**

**Q：普通の心電図とは、何が違うのですか？**

A：一般の心電図（安静時 12 誘導心電図）検査は記録時間が短いため、胸痛発作や動悸で受診されても、その時には心電図に異常が現れない場合があります。携帯発作時心電図検査は症状があるときの心電図を記録することができます。ただし、1 誘導のみの記録のため、安静時 12 誘導心電図と比べると、簡単な心電図波形の記録となります。

**Q：心電図記録は難しくありませんか？**

A：説明時、一度ご自身で練習として記録を行っていただきます。記録操作は、機器を胸に当てて記録ボタンを押すだけです。それほど難しくはありません。記録中はできるだけ体を動かさない方が、より鮮明な心電図を記録することができます。使用方法を記載した説明書を機器と一緒にお渡しいたしますので、そちらを参照しながら記録を行っていただければ問題ありません。

**Q：お風呂で使用できますか？**

A：機器は耐水性ではありませんので、入浴中やシャワー中は記録を行うことができません。入浴中やシャワー中に症状が現れた場合は、体の水分を拭き取ってから記録を行ってください。

